

民主党小沢代表の“開き直り”辞任——金権体質では、自民党とつり二つ！——
景気・暮らしに役立たない補正予算案——消費税増税反対！雇用を守り、福祉の充実を！
ご近所のみなさん、日本共産党です。

民主党の小沢代表が、西松建設の違法献金疑惑に居直って、代表を辞任しました。一方、国会では、景気にも暮らしにも役立たない、十四兆円にものぼる、補正予算案が、衆議院を通過。また、外国の基地づくりにも、日本の国民の血税をつぎ込む、沖縄の米海兵隊グアム「移転」協定が、衆議院の議決優先で、承認されました。

四ヶ月以内に必ず行われる総選挙をめぐる政争がめまぐるしく動いています。今日は、これらの問題についてふれながら、政治の中味を変える、**日本共産党の見解と、取り組みの一端を、お話ししたいと思います。ご協力をよろしく願います。**

みなさん。

民主党・小沢代表が、世論に押されて、代表職を辞任しました。

ところが、西松建設の違法献金疑惑について、「一点のやましいところもない」と、開き直る始末です。選挙に不利か有利かだけが、判断基準では、あまりにも、**国民を馬鹿にして**いるのでは、ないでしょうか。

疑惑の中心は、準大手ゼネコンから、巨額の献金を受けながら、政治団体から受けたように偽装して、国民を欺いてきたのではないかと、いうことです。そもそも、何のために、西松建設側から、お金を貰い続けてきたのか、ということですが、

小沢氏と民主党が、疑惑にフタをして、説明責任を果たさそうとしないのは、金権体質において、民主党と自民党が、同じ立場だということでは、ないでしょうか。

日本共産党は、参議院における補正予算案の審議に際して、各党が、西松建設関係者を国会に呼ぶなど、疑惑解明に全力を尽くすことを、強く要求します。

ご近所のみなさん。

日本共産党と労働組合などが実施する、埼玉版「派遣村」・各地の“生活・労働相談”には、深刻な相談が相次ぎ、みんなで力を合わせて、解決のために力を尽くしています。

派遣切り”にあつて、仕事も、住む家もなくなった方、中には、手持ちのお金が底をついた方もいました。

一方、労働組合に入つて、たたかいに立ち上がった方もいます。

こうしたなか、**宇都宮地裁栃木支部**が、いすゞ自動車栃木工場の、不当な「非正規切り」について、**労働者の訴えを全面的に認める**、決定を出しました。**契約期間途中の解雇は不当**であり、賃金を六〇%もカットする休業命令も不当であると、決定したのです。

“人間使い捨て”の、「非正規切り」を強行する、大企業に対する、初めての断罪です。巨額の内部留保を抱える、大企業に、雇用を守る、社会的な責任を果たさせるために、力を合わせようではありませんか。

みなさん。

麻生内閣と、自民党、公明党は、〇九年度予算を通した直後に、しかも、十四兆円にものぼる、総額先にあるという、問題だらけの補正予算案を強行しました。

大企業による「ハケン切り」など、雇用破壊をやめさせる立場は全くなくて、逆に、大型公共事業と減税で、大企業に大盤振る舞いをするという、内容です。

国民向けとはいえ、三歳から五歳の子どもだけを対象にした、一回限りの給付金や、雇用保険の給付が受けられない方への、三年限りの支援など、一時的なばらまきばかりです。しかも、国の借金のツケは、消費税増税で、国民にかぶせるというのですから、景気にも、暮らしにも、役立たないのではないのでしょうか。

経済政策を、**家計応援に切り換える**ために、日本共産党を、よろしく願います。